

丹波縄文の森塾 第8日目活動報告（令和5年11月25日）



天気：曇り一時時雨。

今日の活動は、丹波の森公苑をぐるっと取り囲む里山の尾根歩き。

塾生は、山登りでの注意事項を聞き、準備運動をして、10:25に西登山口からスタート。

小学生の塾生にとって険しい登り坂が何か所ありましたが、励ましあって、みんな元気に歩きました。

登りはじめて約1時間、東の頂上（標高377m）付近でお弁当をいただきました。尾根に吹く風は冷たく、体が冷えないうちに再出発。急な下り坂では、滑り落ちないようにロープにつかまりながら一生懸命、下りました。展望台からは、丹波市の田園風景が一望でき、自分の登校する学校を探す塾生もいました。



13:10 ゴールの創作工房に到着。杉本サポーターが焼いてくれたお芋をいただき、前回（10月14日）の縄文の森塾に引き続き、竹弓を使って矢を射る練習をしました。

前回よりも遠くに矢を飛ばすことが出来、矢が的に当たると「当たった。当たった。」と歓声があがっていました。

次に角谷森づくり活動アドバイザーの指導で、公苑に落ちているどんぐりや松ぼっくり、木の枝などを使ったクラフト作品づくりにチャレンジしました。とってもかわいく、個性的なクリスマス飾りが出来あがり、みんな大満足でした。

